

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

使用教科書：（精選言語文化（東京書籍））

- 教科 国語 の目標：
- 【知識及び技能】 これまでで身に着けた言語能力の基礎の定着と、応用を身に着け、使いこなすこと。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 言語によって自身の考えを発信し、相手の考えを聞く力の育成。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 言語によるコミュニケーションを図り、他の人との関係を構築すること。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりするようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 時 数
		話・劇	書	読					
古『児のそら寝』『絵仏師良秀』古典文法 【知識及び技能】 歴史的仮名遣いのきまりを理解し、本文外での使われ方の知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をする。 【学びに向かう力、人間性等】 古文を読むことに積極的に取り組み、説話の面白さを説明する。	・指導事項 古文に慣れるよう現代語との違いを学ぶ ・教材 「言語文化」教科書、文法書、辞書 ・端末を使用し、古文の世界について調べてみる			○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA, B, Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	8
小説『羅生門』 【知識及び技能】 登場人物の心情表現や、場面の把握といった小説の読み方の基本を理解する。 【思考力・判断力・表現力】 複数の登場人物の目線から物語を考え、それぞれのもの見方、感じ方や考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 下人の行方や老婆の発言等、本文には書かれていない箇所について考え、他者と意見を共有する。	・指導事項 古語ではないが、理解しにくい世界観であることに留意し、作品の時代設定についてしっかり指導する ・教材 「言語文化」教科書、辞書 ・教科書掲載外の『羅生門』について端末で調べ、違い等についてまとめる			○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA, B, Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	5
定期考査				○		○	○		1
小説『羅生門』 【知識及び技能】 登場人物の心情表現や、場面の把握といった小説の読み方の基本を理解する。 【思考力・判断力・表現力】 複数の登場人物の目線から物語を考え、それぞれのもの見方、感じ方や考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 下人の行方や老婆の発言等、本文には書かれていない箇所について考え、他者と意見を共有する。	・指導事項 古語ではないが、理解しにくい世界観であることに留意し、作品の時代設定についてしっかり指導する ・教材 「言語文化」教科書、辞書 ・教科書掲載外の『羅生門』について端末で調べ、違い等についてまとめる			○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA, B, Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	5
古「大江山」古典文法 【知識及び技能】 用言の活用を理解し、文法事項を基に文章を読解できる。 【思考力・判断力・表現力】 作品における和歌の位置づけを理解し、文脈をくんで現代語訳ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 知っている和歌の背景等を積極的に調べ、本文における和歌の役割を理解する。	・指導事項 古文に慣れるよう現代語との違いを学ぶ ・教材 「言語文化」教科書、文法書、辞書 ・端末を使用し、古文の世界について調べてみる			○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA, B, Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	6
漢「漢文入門」 【知識及び技能】 訓詁の基本を意識して文章を読む。 【思考力、判断力、表現力等】 話の内容と意味がどのように繋がっているのかを理解し、説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文の構造について興味・関心をもち、調べる。	・指導事項 漢文に慣れるよう現代語との違いを学ぶ ・教材 「言語文化」教科書、文法書、辞書 ・端末を使用し、漢文の世界について調べてみる			○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA, B, Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	8
定期考査				○		○	○		1

